

2学期以降の授業改善に向けて

遅くなりましたが、計画訪問お疲れ様でした。いろいろな面でたくさんの先生方にカバーしていただきありがとうございました。特に、研究授業をしてくださった成瀬先生、本当にありがとうございました。先生方におかれましても、指導案の作成や教科部会、環境整備、授業参観やグループ協議・発表など、ありがとうございました。教科別分科会の記録をまとめておきます。2学期以降の授業改善に生かしていきましょう！




教科	授業の振り返りより	指導・助言
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらい・目標を明確にしたことで、次への課題意識をもってがんばっている生徒が多かった。 ・学習用端末を利用して自分のスピーチを客観的に聞くことをしっかりさせればよかった。 ・時間を確保しようとしたが、今回は教え合いや助言が少なかった。どうすべきだったか。 ・まとめの発表で、手順のこと、相手意識について振り返っていたが、自分が求めていたのは表現の効果についてのことだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習用端末の録音に必要感を感じていなかった。必要感、目的がわかっていればもっとがんばれた。録音を強制的に行わせてもよかった。 ・支援が必要な生徒がいるので、<u>評価シートを事前に配付すると、観点が分かって活動できたかも。</u> ・もっと子どもたちの出番をうまく出せるように仕掛けや工夫をする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>単元を貫く課題を設定し、その要素となる授業づくりを意識し、まとめ後に単元を貫く課題について考える時間をつくる</u>予定であったが、タイムマネジメントが甘く、時間をとることができなかった。 ・知識として抑える部分と、学習者用端末の活用場面の精選をしっかりとし、<u>授業のねらいの部分に時間をとれるようにしていきたい。</u> ・公民の最初の単元として、歴史の現代の内容とのつながりを意識して、課題設定した。 ・公民はいかに自分事として社会的な事象をとらえられるかがポイントになるため、<u>様々な場面で自分だったらどうするかということ</u>を問い返した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の基本は資料の読み取りと、それを根拠にして考察することなので、ゴールにつながる資料の精選を行うことが大切である。 ・ICTで交流した後、どうすれば全体へ効率よく返せるかということについては、<u>端末でほかの意見を見させている間に、教員が先に多数意見を拾い上げておく。少数意見については、教員が指名し、どのように考えたのかを聞き、全体にも広げていく。</u> ・<u>単元構成を意識した授業づくりは、これからも大切にしたいほうが良い。</u> ・振り返りは本時の時に少しずつでも書かせておき、単元のまとめの時にフィードバックしやすいようにする。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・問題提示からすぐにフリーで考えさせすぎた。 ・生徒に説明させるのが難しかった。 ・まとめをする時間がとれず、適用題を解くことにこだわりすぎた。 ・正方形の面積が最大となる場面をマネしにくいものにしてしまった。 ・話し合いをさせた後に全体での押さえができなかった。 ・ICTの活用方法の吟味。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを絞ってもよかった。 ・キーワードを生徒に言わせたり、教師がおさえたりする。 ・言葉の式にまで落としてあげて考えさせてもよかった。 ・<u>復習の時間をとっていたのは良かった。</u> ・<u>話し合い後はみんなを同じ土台に乗せて、全体で確認すること。</u>
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の活動は活発になっていたが、<u>見取りや声かけが難しい。</u> ・生徒同士の話し合いやグループ活動では話することができるが、全体となると手を挙げづらい雰囲気になってしまう。 ・振り返りの時間を十分に取ることはできなかった。 ・水溶液中のモデルのようすを考えるのに時間がかかり、振り返りの時間が短くなってしまった。 ・<u>授業の流れは板書してあるが、活動の指示をするときに、今から何をするのか流れを確認しながら説明できるとわかりやすくなる</u>と感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>単元マップ等を用いて単元全体を見通しているのは良い。</u> ・主体的に学習に取り組む態度を目標にするのであれば、振り返りに時間をかけて生徒の変容が分かるようにする。 ・ICTの活用で目に見えないものをイメージさせることができていた。 ・<u>ヒントの準備など、手が止まりそうな生徒への対応もできていた。</u> ・<u>ねらい、課題、活動、まとめの一貫性を意識する。</u>本時の授業では、ねらいとまとめにすこしズレがあった。

保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 個人競技の学び方と球技の学び方の違いについて深めたい授業だった。 <u>戦術作戦を立てるためのデータ分析やどんな学び方ができるかに的を絞れば良かった。</u> 思考判断表現力で評価する授業。発表の場面で、もっと学びが深まる問返しができたら良かった。 <u>めあてを絞ればよかった。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> <u>教科書を必要に応じて参考に出来る心配りのある環境づくりが良かった。</u> めあてを「合理的な学びのためには何がある？」にすると良いかも。 アドバイスの手本となる既習を掲示する。 めあては「進塁を防ぐ」より「どう捕る?どこに投げる?」の方が良い。 <u>練習方法を生徒に選択させるのも良い。</u>
英語	<ul style="list-style-type: none"> Small Talk のとき、タブレットを使ってメモをとることの指示が不十分だったことが残念。単元の流れの中で計画通り進まず、2時間別のことをしたため、つながりがうまくいかなかったことが原因だと考えられる。 <u>課題は見取りと全体の共有。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> <u>英語が苦手な生徒が、伝えたくて知っている単語を連ねて話そうとする姿が貴重である。</u>そういう堂々と発話する生徒を大事にしたい。 何度も(5~6回)伝え合うのもよい。ALTの英語、先生の英語... いろいろな英語に触れる場面があった。中間で共有したのも良かった。 <u>本時のねらいを単元のゴールから逆算して設定する。何のために学習活動をするのかを明確にする。</u>

◎改善指導案の作成について

～自身の今の授業の可視化～

①計画訪問の公開授業で用いた指導案の、本時の展開の部分に付箋を貼っていく。

- 教師が中心になってやっている活動には「**ピンク色**」 
- 個人の活動には「**黄色**」 
- 仲間と関わりのある活動には「**緑色**」 

②付箋の並びを見て、自身の授業の特徴を知る。(教師の話と、生徒の活動のバランスなど)

③計画訪問の教科別分科会で助言いただいたことも参考にして本時の展開を練り直してみる。

- それぞれの活動の時間配分 ・ 活動形態 ・ 教師の関わり方 ・ ICTの活用 など

改善前の指導案のデータは、

「令和6年度→③研究部→⑦計画訪問→★改善前の指導案はこちら」のフォルダに入っています。

改善後の指導案のデータは、

「令和6年度→③研究部→⑦計画訪問→★改善した指導案はこちらへ(8月9日まで)」

に入れてください。

◎1学期の研究の振り返りについて(再連絡)

(1)定期的な教科部会の実施による情報共有

①単元マップの作成・活用

→1学期に活用したものを1部提出→7月26日(金)まで

②振り返りシートの作成・活用

→1学期に活用したものと、生徒が記入したものを1部以上提出→7月26日(金)まで

④今年度の重点取組(1)~(3)の実践の振り返り

授業づくりアンケートの回答を参照しながら1学期の取組について記述

データに記入→7月26日(金)まで

提出先: ③研究部→①学校研究→★1学期の授業実践の振り返り(7月26日まで)

(2)生徒及び職員アンケートの数値比較による分析

・授業づくりアンケート

→各項目該当する数字に○をつけて安田の机の封筒へ提出→7月26日(金)まで